

<報道関係各位>

2016年7月4日  
メビックス株式会社

## ハブエビデンスの提供を開始

### ～専門領域毎に将来のKOLをランキング～

メビックス株式会社（本社：東京都港区 代表取締役：吉田 裕彦 URL：<http://www.mebix.co.jp/> 以下、メビックス）は、臨床研究（エビデンス構築）における現在および将来のキーオピニオンリーダー（以下、KOL）を専門領域ごとに明確化する『ハブエビデンス』の提供を開始致します。

メビックスは、220以上の臨床研究に導入され、のべ18,000人以上の医療関係者に利用されているEDC（※）システム「CapTool」の提供を通じて日本の臨床研究を支援する、同分野における国内No.1の企業です。2009年よりエムスリーグループの一員としてインターネットを活用した高付加価値の臨床研究支援サービスを提供しています。

（※）Electronic Data Capture：臨床検査情報の電子的収集

エムスリーは約25万人の医師が会員登録する医療従事者向け専門サイト「m3.com」を運営し、インターネットを通じて医師に薬剤等の情報を提供する「MR君」ファミリーを中心とした製薬会社向けマーケティング支援サービス、治験に参加する施設・対象患者を発見する治験支援サービス「治験君」を核とした治験支援関連サービス等を提供しています。

エムスリーではマーケティング分野においてKOLを明確化する調査サービス『ハブマーケティング』を長年提供し、多くの製薬会社にご利用いただきました。この度、メビックスでは『ハブマーケティング』で蓄積された調査ノウハウを活用し、臨床研究分野におけるKOLを明確化する『ハブエビデンス』の提供を開始致します。

『ハブエビデンス』はm3.comを用いた大規模アンケート調査を通じて臨床研究（エビデンス構築）を積極的に行っていると感じるKOLを客観的にノミネートし、ランキング化するサービスです。アンケート回答医師の属性、患者数、処方薬剤などの基本情報以外にも「その医師を選んだ理由」、「その医師が支持していると思われる企業名」、「その医師から臨床研究への依頼があった場合の参加意向」等の情報を収集することによって多面的な分析が可能です。

調査対象には現在全国で活躍中のKOLのみではなく、特定地域での活躍ランキングや将来において影響力を持つKOLも含まれます。「今日のKOL」に加えて、3～5年後に活躍が期待される「明日のKOL」についてもランキング化することで、長期間に渡って実施されることが多い臨床研究で将来を見据えた設計が可能となります。

引き続きメビックスでは、EBM（エビデンス・ベースド・メディスン）という考え方により高まっている、臨床研究に基づく科学的なエビデンスのニーズに応えてまいります。

## ■製薬会社にもたらすメリット

製薬企業のメディカルアフェアーズ部門は自社製品に纏わる臨床研究に毎年数千万円～数十億円単位の投資を行っていますが、本データの活用により、医師主導臨床研究における研究支援の可否、また、企業主導臨床研究の成功の鍵を握る医学アドバイザーや研究代表医師を効果的に選定し、臨床研究を実現することができます。糖尿病、高血圧、脂質異常症などの広い領域から、オーファンなどのニッチな領域でも調査を行うことができ、企業の幅広いニーズを満たすことが可能です。

## ■ハブエビデンス調査例

### 調査概要

<b>調査方法</b> Web調査	<b>調査地域</b> 全 国
<b>調査期間</b> 2016年1月27日～1月29日	<b>調査対象条件</b> 糖尿病患者を少なくとも 50人/月以上診療している医師 (専門医/非専門医*別に割付回収)
<b>標本台帳</b> m3.com会員医師 Data Source:  m3.com 会員医師	<b>有効回答者数</b> 全体: n=560 (専門医:n=273 非専門医:n=287)

\*「専門医」:糖尿病/代謝/内分泌内科を標榜する医師または日本糖尿病学会専門医  
 「非専門医」:一般内科を標榜する日本糖尿病学会非専門医

### 臨床研究ハブ医師：将来(5年後)活躍医師ランキング



左：将来（5年後）活躍医師のランキング、右：現在活躍の医師ランキング  
 ハイライト部分：現在活躍医師には名前があがっていない将来（5年後）活躍医師

【メビックス株式会社概要】

所在地：東京都港区赤坂 1-11-44 赤坂インターシティ

代表者：代表取締役社長 吉田 裕彦

URL：<http://www.mebix.co.jp/>

本件に関するお問い合わせ先  
メビックス株式会社  
Tel：03-4362-4502  
e-mail：marketing@mebix.co.jp  
担当：マーケティンググループ